

巻頭言 一眼形成の専門医として、地域の皆さまに寄り添う医療を—



<眼科>

遠藤 貴美 准教授

こんにちは。2025年4月から昭和医科大学横浜市北部病院眼科に、2年ぶりに戻ってまいりました、遠藤貴美（えんどう きみ）と申します。生まれ育った地元・横浜で、また診療に携われることを、とても嬉しく思っております。私は昭和大学医学部を卒業後、同大学病院で眼科医として研鑽を積んでまいりました。とくに「眼形成（がんけいせい）」と呼ばれる分野を専門としています。これは、まぶたや目の周囲の病気やけがに対する手術を扱う領域で、眼瞼下垂（まぶたが下がる病気）、眼瞼内反・外反（まぶたが内側や外側にめくれる病気）、まぶたの腫瘍などの手術を数多く手がけてきました。眼形成の診療では「よく見えること」に加えて「自然な見た目」「快適さ」もとても大切です。患者さんが「心地よく目を使える」よう、一人ひとりに合わせた丁寧な診療を心がけています。

当院には、日本の大学病院として初めて「甲状腺センター」が設置されており、内科・外科・放射線科などが連携して甲状腺の病気に総合的に取り組んでいます。眼科では「甲状腺眼症（Thyroid Eye Disease：TED）」という病気に対する専門外来を設けています。甲状腺眼症は、目の奥に炎症が起きて眼球が突出したり、まぶたが腫れたり、物が二重に見えるなど、生活に大きな支障をきたすことがある病気です。最近では「テプロツムマブ（Teprotumumab）」という新しい治療薬が日本でも使えるようになり、治療の幅が広がっています。私自身も専門医として、患者さまにとって最適な治療を提供できるよう努めております。

目は、生活の質に直結する大切な器官です。これまでの経験と専門性を活かし、地域の皆さまに「安心」と「信頼」の眼科医療をお届けできるよう尽力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

最後にお知らせです。眼科診療科長の藤澤邦見先生が会長を務める「第64回日本産業・労働・交通眼科学会」が、11月29日に当院西棟4階で開催されます。午後3時20分からは、ノーベル化学賞を受賞された白川英樹先生によるスペシャルセミナーや、株式会社スキママッチング代表取締役・岩淵真人先生による「自動運転とAI」に関する特別講演も予定されています。一般の方も無料でご参加いただけますので、ぜひお気軽にお越しください。

P1【巻頭言】着任のごあいさつ

—一眼形成の専門医として、地域の皆さまに寄り添う医療を—

P2【医学講座コーナー】秋期市民公開講座に向けて

P3【お知らせ】市民公開講座を実施します

【お知らせ】当院の臨床検査室がISO15189の認定を継続しました

P4【患者さんからのご意見・ご要望・感謝の言葉】【編集後記】

10月

皮膚がんについて

(皮膚科 山口 文太郎 助教)

皮膚は表皮、真皮の二層から構成され、その下に皮下脂肪織があります。

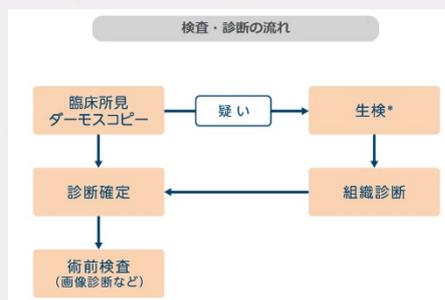
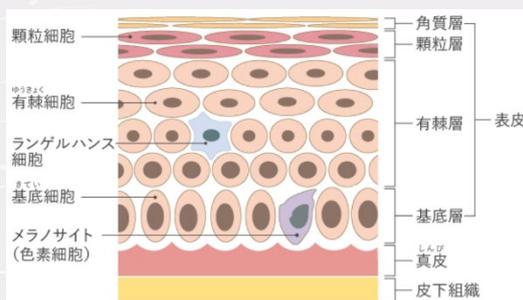
表皮は数層の細胞からなる薄い組織で、表面から、角質層・顆粒層・有棘細胞層・基底細胞層で構成されます。基底細胞層は1層の細胞層で、この細胞が分裂して有棘細胞層→顆粒層→角質層と上方へ移動します。また、基底層にはところどころメラノサイトがあり、メラニン色素を産生します。有棘層は数層の細胞からなり表皮の大部分を占めます。

真皮はコラーゲンなどの線維組織からなり、微小な血管網・神経を有しています。また、皮膚の毛や脂腺、汗腺・汗管などの皮膚の付属器も真皮から表皮にかけて存在します。

皮膚はこのように様々な組織を含み、各々の細胞が癌化することがあるため、皮膚がんには多くの種類があります。

皮膚がんの種類

基底細胞癌、有棘細胞癌、メラノーマ(悪性黒色腫)などが多くみられ、その他に、乳房外パジェット病、メルケル細胞癌、皮膚付属器癌(汗腺癌、脂腺癌)、皮膚血管肉腫、隆起性皮膚線維肉腫などがあります。なお、皮膚に発生するがんとして、皮膚のリンパ腫があります。皮膚のリンパ腫は悪性リンパ腫の1つで、通常の皮膚がんとは区別されます。



皮膚がんの診断方法は？

診断には、皮膚病変を10~30倍に拡大して観察する機器を使って病変を診るダーモスコピー検査や、確定診断のために病変を切除して、採取した組織を顕微鏡で調べる皮膚生検、他の部位に転移がないかや、どれぐらい症状が進行しているかを調べる画像検査(超音波検査、CT、MRI、PETなど)を行います。血液検査で腫瘍マーカーの値を参考にすることもあります。腫瘍マーカーはかなり進行した状態で高値を示し、がん以外の原因や季節によっても高値を示すことがあるため、早期診断には有用とはいえ、病勢や治療効果の判断などに使用されます。早期診断に有用な血液検査は今のところありません。

まずは、迷わずに相談を！

いずれの皮膚がんにおいても、早期発見・早期治療が大切です。普段から、患者さんご自身、ご家族、または身近な方が、皮膚や手、爪などを観察することが早期発見につながります。まずは、いつもと違うものが出てきた、色が黒い、赤い、触ってみると硬い、痛いなど変化がないかチェックしてみましょう。また、日常生活において過度な日焼けを避けることも皮膚がんを予防する方法のひとつです。

皮膚に何か気になる変化があれば、是非皮膚科にご相談ください。

【お知らせ】市民公開講座を実施します

【日 時】2026年1月17日(土) 13時00分～
【開催方法】ハイブリッド開催(オンライン・対面同時開催)
【開催場所】昭和医科大学横浜市北部病院 西棟4階講堂

ご予約は不要です。当日の飛び込み参加も大歓迎です。

「心臓弁膜症ってどんな病気?」、「皮膚がんにも種類が! ?」など気になった方、ご参加をお待ちしております。

【司 会】病院歯科 安田 有沙 講師

【テーマ】第1部「心臓弁膜症を知ろう ～僧帽弁・大動脈弁の病気と治療法～」

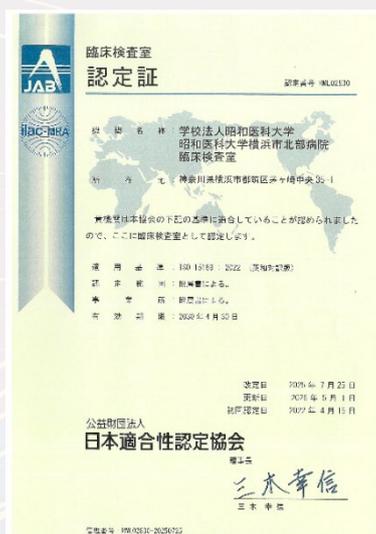
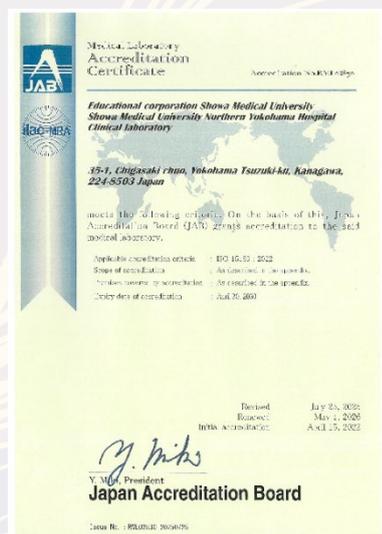
〈講演者〉循環器内科 岡部 俊孝 講師

第2部「皮膚がんの基礎知識」

〈講演者〉皮膚科 山口 文太郎 助教

【お知らせ】当院の臨床検査室が ISO 15189 認定を継続しました

当院の臨床検査室が ISO 15189:2012 から新規格 ISO 15189:2022 への移行審査および取得後4年目にあたる再審査を受審し、公益財団法人 日本適合性認定協会より臨床検査室の認定 (ISO 15189) に適合していることが承認されました。ISO 15189 とは、臨床検査(一般検査、血液学的検査、生化学的検査、免疫学的検査、生理学的検査、超音波検査、病理学的検査など)を実施する臨床検査室の技術能力を証明する手段の一つであり、国際規格「ISO 15189 (臨床検査室-品質と能力に関する特定要求事項)」に基づき、臨床検査室の審査が行われた結果、国際基準に準じた優れた能力を有していることが認められました。



患者さんからのご意見・ご要望・感謝の言葉

ご意見・ご要望	回答
18：00 過ぎに診察が終わった場合でも、会計に人がいてくれないと困ります。	ご不便をおかけし申し訳ありません。 中央棟1階の会計窓口につきましては、受付時間を「8：30～18：00」とさせていただいております。 18：00以降のお会計につきましては、看板でもご案内しておりますとおり、地下1階の救急外来受付にて対応させていただいております。 ご足労をおかけしますが、そちらをご利用くださいますようお願い致します。 (回答部署：医事外来課)
先生方、看護師の皆さんが優しく、きちんとした方ばかりだったので、入院手術は人生初めてでしたが、とても安心して過ごせました。 また、食事メニューが豊富で味も美味しく、びっくりでした。 感謝、感謝です。	この度は、温かいお言葉をいただきありがとうございます。 安心して入院・手術を受けられたとのこと、私たち医療従事者も大変うれしく思っております。 いただきましたお言葉を励みに、今後も患者さんのお気持ちに寄り添い、安心して入院生活を送れる環境づくりと、美味しいお食事の提供に努めてまいります。 (耳鼻咽喉科・看護部・栄養科)
レストランの皆さんへ。 いつも車椅子の私に親切にしてください、ありがとうございます。 他では中々食事ができないので助かっています。 これからもよろしくお願いします。	日頃より、9階レストランをご利用いただきありがとうございます。 快適なお時間をお過ごしいただけるようスタッフ一同努めてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいいたします。 (9F レストラン)

編集後記

10月に入りましたが、日中はまだ夏のような暑さが続いています。通院の際、汗をかいたり体がほてったりすることもあるかもしれません。無理をせず、水分補給や休憩をしっかりとるよう心がけてください。
秋はおいしい食材がたくさんありますが、中でも「さんまの塩焼き」は季節を感じる代表的な料理です。脂がのったさんまに、大根おろしを添えるとさっぱり食べやすく、ビタミンCが豊富で疲労回復に役立つほか、利尿作用でむくみ予防にもつながります。ただ、食べすぎには注意し、腹八分目を心がけてバランスの良い食事を続けましょう。これからも皆さんが安心して通院できるよう、スタッフ一同しっかりサポートいたします。
気になることがあれば、いつでも気軽に声をかけてください。
(放射線技術部 國井 優 技師)

北部病院だより 第208号 (2025年10月1日発行)
発行責任者 坂下 暁子 (昭和医科大学横浜市北部病院長)
編集責任者 緒方 浩顕 (広報委員会 委員長)
発行 昭和医科大学横浜市北部病院
〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1
電話 045-949-7000(代表)
URL : <https://www.showa-u.ac.jp/SUHY/>
北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』がご覧いただけます。

